

## 第5回推進委員会

4月のキックオフミーティングをスタートとして、5月から開催してきたこの推進委員会も、いよいよ今年度最終回となりました。「地域福祉」＝「暮らしの基盤づくり」の実践に向けて、どのように「成果」を計り、評価していくことができるかについて議論しました。



### 開催概要

#### 日時

平成27年 **12月18日**(金) 18:30～20:40

#### 会場

はつかいち文化ホール さくらぴあ 1F リハーサル室

#### 出席者

19人

(委員:8人、市職員:6人、  
ひろしまジン大学:5人) ※聴講者 1人

### プログラム

- はじめに
- ステップ1～ステップ4の振り返り
- 議論  
「実践に移すための推進のしくみを考えよう！」
  - オリエンテーション  
今日の目標、タイムスケジュール確認
  - グループワーク  
実践に向けて、「成果」の計り方を考える。
    - ア. 自分の活動を振り返りながら、取組の成果をどのように計れるか考える(フリップ記入)
    - イ. グループ内で紹介・共有
    - ウ. 全体で共有
- 推進委員のみなさんから一言
- おわりに



# はじめに

廿日市市福祉保健部長 田村 哲

日頃活躍されている団体、組織での立場やご経験、普段の活動を通じて感じていることなどを踏まえ、「地域福祉」＝「暮らしの基盤づくり」について存分に議論していただいた様子が伺えます。この議論の積み重ねがプロセスの価値の共有となり、委員の皆さんが所属する各主体同士のつながりや、行政、社会福祉協議会との日常的な連携、課題解決など、第2期計画策定後の実践につながっていくものであると、期待しています。



本日は、今年度最後の推進委員会となります。これまでの議論に思いを馳せながら、来年度以降、第2期計画の実践に引き継ぐ、よい議論の場となることを願っています。

## 議論:オリエンテーション

これまでに議論してきたステップ1～ステップ4の内容を踏まえ、今後、暮らしの基盤づくりを推進していくために、「成果」をどのように計り、評価していくことができるか、また、どう評価していくのがよいかについて、2つのグループに分かれて議論しました。

## 議論:グループワーク

### 【グループワーク①】

委員の皆さんそれぞれが所属している団体の活動を通じて、「成果」をどう計っているか、あるいは、「成果」をどう感じているかについて考え、それぞれフリップに記入しました。

### 【グループワーク②】

記入したフリップをもとに、グループ内で紹介し合い、共有しました。

アンケート ありのみ

- ・企画自体の課題
- ・指標で表わせる評価形式
- ・何がわかれば改善しやすくなるか
- ・分析ノウハウ
- ・統一した基準で相対的な比較が可能
- ・変化を客観的に検証
- ・見えないニーズが見えてくる

前記のことで、また上で、希望もはがら  
 多岐にわたることで、まだできていないことが  
 いろいろと

1. 不足を明らかに
2. 互いに学び合いながら
3. やねい、時には素直に「自分たち」で  
 話し、地域の費用を「個人」の  
 意識と高めながら「多岐」も含めて

楽しそうに雰囲気  
 だったか  
 (多岐イベント時)

①意識と態度  
 ②活動内容の変化

③社会文化  
 文化の活性化

- ・地域行事=積極的に参加
- ・社会で役割と自覚する

<一般的な成果変化の把握>

①アンケート用紙を作成  
 現状→1年後→3年後の進捗

②全世帯を調査  
 内容、行政計画との関係性を

③定期的評価  
 行政調査、地域調査を同時進行

④地域包括ケア→行政との連携、連携  
 点→面→25年計画  
 (行政)(知事)(行政)



- ・講演会参加者の数が増える
- ・ICカードと付録、2冊を共有可能な形で増える
- ・「これは行政と関係ない」と言われても
- ・共同募金・会費・寄付が増える
- ・ボランティア参加者数が増える
- ・行政との連携 団体の活動企画に行政の時  
 (行政) 連携
- ・新着団体の

(地区自主防犯会)

- ・要援護者の状況把握の為にスタート  
 (1人ミニブロン(毎月)への参加者が増え  
 各々々の状況を把握する事ができる
- ・防災訓練への参加者が増える
- ・防災意識が向上した事を定期的に  
 意識調査をしていく
- ・防災会メンバー新しい人が参加する(若人)

当日出席された推進委員の皆さんから、今年度の委員会を振り返っての感想や気付きをいただきました



【梅本委員】

この委員会の場で、いろんな方と知り合えたことが、私の一番の財産になりました。

私につながると「ろくなことがない」(!?)ということが今後あるかもしれませんが、このつながりを、いろいろ使わせていただきたいと思っています(笑)



【樋口委員】

参加させてもらえてよかったです。議論の中でも出ていましたが、やっぱり、自分がどう元気で、生き生きと老後を暮らせる

か、そこにかかっているのではないか、ということを実感してもらいました。



【中東委員】

私は、他市から通っていますが、廿日市市はとても地域に密着しているところだなと、この推進委員会に参加して感じました。

逆に、私が住んでいるところはどうかかなと、常々この委員会に参加して、いつも思っています。とてもよい勉強をさせていただきました。



【荒木委員】

自分を振り返ってみると、ボランティアであろうとなんでであろうと、楽しいからやっています。

この楽しさをどうやって人に伝えていくかが大きなテーマですね。私の住んでいる地域であれば、昔ながらのところが残っているので、それを最大の武器にしながら、つながっていけるのではないかと思います。



【田丸委員】

地域包括ケア体制づくりを試行錯誤で進めていますが、この委員会に参加して、いろいろなエッセンスをもらうことができました。

気づいてもらう「点」の活動から、知ってもらう「面」の活動、そして行動することで幅を持たせるよう我が事として地域活動にがんばっていきます。



【森川委員】

廿日市市五師士会から参加しています。この五師士会があるのは廿日市だけ。いろいろな専門職が取組を通じて、知り合う

ことができ、輪が広がりました。この委員会でも、これまでにかかわりのなかった NPO や行政の方など、さらに輪が広がったと思います。



【安葉委員】

第1回会議から、蛭江委員長の言葉に深く感銘を受けました。毎回まとめが楽しみで、毎回感動していました。第一線を

走ってこられた方の意見を聞くことができ、本当に勉強になったと思います。





## 推進委員会を振り返って

地域福祉計画推進委員会委員長 蛭江 紀雄

「委員会」というと、委員長が座って司会をして、みんながああこうだと意見を言い合って終わっていくものがよくありますが、この委員会は、進め方や手法がとてもよかったです。ひろしまジンの皆さんも、本当にいいメンバーがそろって、「パートナー」として一緒に進めてもらうことができました。

計画は策定して終わりではなく、推進することが大切。仕掛けとしてはもう一つ、策定班会議がありましたね。



計画ができた後、推進していくための素地づくりとして、この推進委員会と並行しながら、行政内部の関係各課や社会福祉協議会との議論の場をつくってきたこともよかったです。

これからがスタートです。このつながりをこれからも続けて、みんなで協働していける仲間になりました。一年間、ありがとうございました。

## 推進委員会を振り返って

特定非営利活動法人 ひろしまジ大学 平尾 順平

私たちは「まちづくり」分野の NPO として活動していますが、「地域福祉」活動と「まちづくり」活動が強く関連していることをこの委員会をとおして意識するようになりました。地域福祉が「暮らしの基盤づくり」という言葉で言い換えられるとすると、私たちの活動もその基盤づくりにかかわっていきたくいと。

メンバーは多くが広島市在住ですが、この一連の委員会をとおして、廿日市市の方々のまちへの想い、実際の関与度合いはすごいなと思いました。私たちも何か一つでも自分たちの街や地域に持ち帰り、いつかは広島全体がよくなることに還元できればいいなと思います。そして、そのつなぎ役として、自分たちもがんばってまいります。

## 第5回委員会に出席した委員のみなさんから

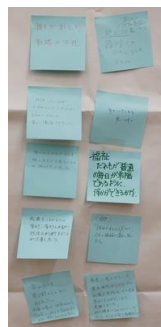
### 「地域福祉」についての気づき・発見

- ・ 人としての本質に関わること。
- ・ 自分ごととして暮らしやすい地域づくりを考えることにこだわって。
- ・ 自分がどういう暮らしをしたいか。
- ・ 人のために何かしてあげるのではなく、自分のために(自分の将来のために)にやること。
- ・ 若い人の力を誘い出したい。自分の背中を見せながら。
- ・ 地域とつながり地域に貢献することで地域福祉を感じることができる。
- ・ 一人ひとりの住民が本当に幸福に元気で生きていけること。それが地域福祉！  
そのためにできることをしていく。



### 今日の感想

- ・ 地についた(自らの活動基盤に立って)語り合いできてとてもよかった。
- ・ 誰もが利己的。動機は不純。
- ・ 身がひきしまる思いです。
- ・ 福祉。だれもが普通の毎日が幸福であるように。
- ・ 成果を計るのは質的、量的とあるが、状況を判断することが大事と思う。
- ・ 「評価することの大切さ」 今回の議論で痛切に感じました。
- ・ 基本理念が今の私達の気持ちをそのまま表してくれていると感動しました。好き勝手にしゃべっていたのにまとめが全て素晴らしい！



## 今後の予定

全5回の推進委員会を終了しました。これからは、第2期計画の完成に向けた文章の記述、ハンドブックの作成、そして、「暮らしの基盤づくり」の実践に向けた準備を進めていきます。平成28年度は、第2期計画の初年度です。「暮らしの基盤づくり」を実践ベースで共有しながら、それぞれの活動にフィードバックさせていくことができるような議論ができればと思っています。引き続き、よろしくお願いします。